

ホッピーだより

平成20年 4月 1日 (2008/ 4/ 1)

No. 281



むかわ町立穂別博物館
054-0211
北海道勇払郡むかわ町穂別80-6
0145-45-3141 (Tel & Fax)

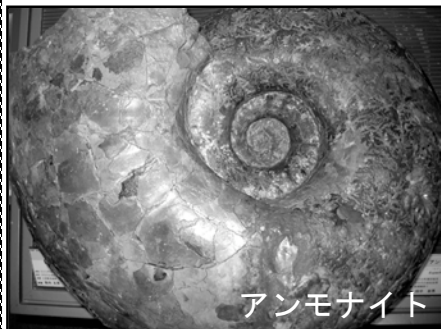
クビナガリュウのホッピー

マイミュージアム18 「穂別のいろいろな化石」

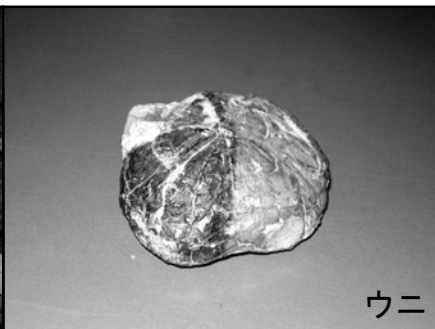
カラの中に、やわらかい体

トゲトゲの生き物

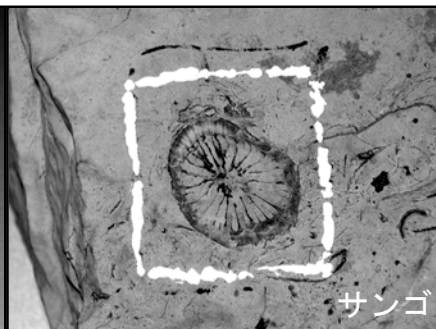
さされると、いたいよ！



アンモナイト



ウニ

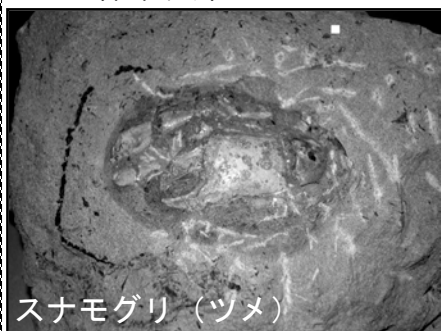


サンゴ

体中、節々だらけ

体の中にはホネがある

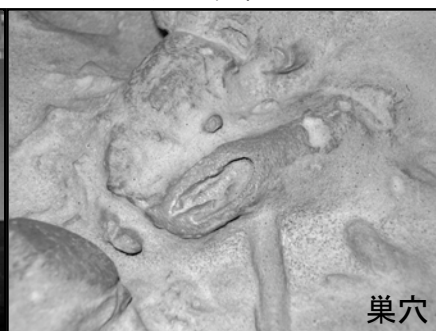
これも、化石？



スナモグリ (ツメ)



ホッピー



巣穴

アンモナイトやクビナガリュウなど、穂別からはたくさんの化石が見つっています。
穂別で見つかったいろいろな化石を、仲間分けをしながら、紹介します。

4/26(土)～5/25(日) 穂別博物館 特別展示室

今年の行事 (予定)

春 (4～5月)

マイミュージアム18 「穂別のいろいろな化石」

夏 (7～8月)

夏の特別展 「穂別のセキツイ動物化石」

化石まつり (8月初め)

秋 (10～11月)

秋の特別展 「穂別の遺跡」

冬 (1～2月)

マイミュージアム19 「私のお宝展」

5～9月の土・日

体験コーナー (土：化石クリーニング、日：レプリカ作り)

くわしくは、
ホッピーだより、
ホームページで

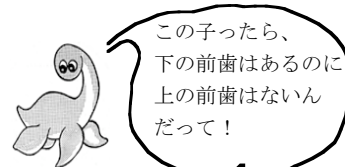


中村記念館は、4/19 (土) に開館します

博物館のホームページ <http://www10.plala.or.jp/mukawa/soshiki/hakubutsukan/>

もう一度シカさんとおつきあいしてね

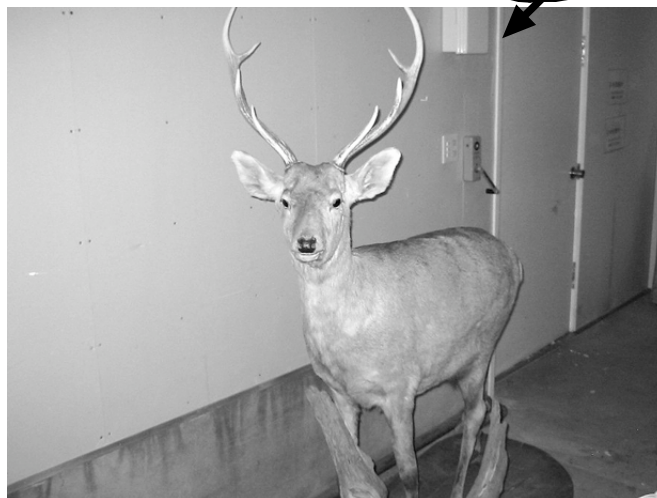
シカさんの世知辛〜い おはなし



今月も、今一度身近な野生動物、シカについてお付き合いください。

現在では駆除動物、害獣という扱いになってしまったエゾシカ。しかし一時は激減して保護されていた時期もあったのです。

1879（明治12）年1〜2月にかけての大雪で、食料を失ってしまったシカは、壊滅的な打撃を被った記録があります。札幌でも3mあまりの積雪があり、山間部ではさらに大量の降雪があったと思われるその時の記録に、鶴川地区が出てきます。記録には、鶴川地区だけで7万5000頭のシカの屍体を数えたというのです。この大雪でシカが激減したことが、後にエゾオオカミの生命にまで影響を与えてしまいます。1900年頃、エゾオオカミが絶滅した原因の一つに、このシカの大量死があったと言われているそうです。大雪で食料を失い、直接被害を受けたシカはなんとか生き延び、間接被害を受けたエゾオオカミが絶滅してしまうとは……。自然界は複雑で奥深いのですね。



また、明治の初め、開拓使は美々（びび。現・苫小牧市）にシカ肉の缶詰工場をつくり、海外にまで製品を輸出していたそうです。この勇払一帯には、むかしからシカがいっぱいいたということですね。

冒頭で紹介した被害により、一時は絶滅したのでは！？と心配されるまでに減少してしまったエゾシカも、シカタカ（シタタカ！）にも生き延び、1990年代に入ると急増し、農作物被害や車との衝突事故など、社会問題といわれるまでになってしまいました。

それにしても、増えてくると「害獣」、減ってくると途端に「保護獣」と言われたって、シカにとってはまったく“そんなのカンケーねえ（古い？）”おはなしでしょうね。

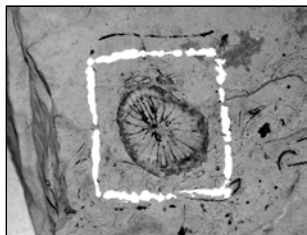
（普及員 打本）



■エゾシカの缶詰

写真：北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園のHPから引用

むかわの化石や生き物



サンゴ（化石）

サンゴは、イソギンチャクやクラゲと同じ仲間です。化石になるのは、固いカラのような部分で、上から下へ向かって細くなる丸いパイプのような形をしています。パイプのかべから中心へ向かってたくさんの仕切りがあり、上から見るとまるで車輪のようです。

2008年4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

2008年5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10						

4月・5月のこよみ

連休中は、月曜日も開館します。
5/7, 8は、連休の振替休館です。

■：休館日

この地球上には、動物、植物、菌類など、さまざまな生物がいます。動物にも色々な種類があり、同じ特徴を持つもの同士が同じ仲間にとまめられています。春のマイミュージアムでは、穂別で生きていた色々な生物を紹介します。（さ）